

水泳の授業でやりたかったこと ⑤

(5) 着衣泳

① 命を守るためには泳がずに待つこと

一九八八年七月、神奈川県横須賀市沖で海上自衛隊の潜水艦「なだしお」とつり船「第一富士丸」が衝突して、三十人の犠牲者を出すという大きな事故が起こりました。この犠牲者の中には、長野県のある若い女性がいまいた。衝突した直後は、この女性の泳ぐ姿を見ている人も数人いました。彼女は水泳クラブの経験者であり、泳ぎには自信があつたようです。救助を待って助け出された人たちの中には「あの人なら岸まで泳いでたどりついているものだと思って」と言う人もいました。

しかし、翌日、水死の状態が発見されたので、彼女はきつと泳ぎ疲れ果てたのでしよう。事故の起こった地点が、横須賀港から3kmの地点だったので、泳げると思つたのでしようか。泳げるという過信が命を落とすことになるなんて何と悲しいことでしょう。

海で遭難した場合、クロールや平泳ぎで泳いでダメです。服を着たら重くなって、体にまとわりついてしずんでしまいます。

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんな」 第30号 2020.6.29(月)

かつたら、体力を消耗しない背浮きで浮いてみることで。海は塩水なので背浮きなら浮きやすいです。

そして、ただひたすら救助を待つことが大切です。泳ぎに自信があるからと言って泳いでダメなのです。海には波があります。プールで泳いでいる場合とはまたちがいます。命を守るためには、泳がずに救助を待つことが何よりも大切です。それには背浮きが適しています。

② 着衣泳の授業

着衣泳の授業では、背浮きの方法、エレメンタリーバックストロークなど、おぼれたときの浮き方、泳ぎ方などについて学習します。

水着で泳いだ後、水着の上から服を着てプールに入ってもらいます。



① クロールや平泳ぎで泳ぐ。

② 背浮きの方法

- ・背浮きの状態で服に空気をためる。
- ・ペットボトルを持って浮く。
- ・スーパリーの袋に空気をためて浮く。
- ③ エレメンタリーバックストローク
- ④ うずまきを作つて漂う。



ペットボトルで浮く

⑤ 救助の方法を知る。

背中から飛び込み↓背浮きになる。↓ペットボトルを投げてもらう↓浮いて移動する。

服を着てプールに入つて泳ぐと、服がまとわりついてなかなか上手に泳げません。クロールや平泳ぎは、なかなか前に進まず、つかれてしずんでしまいます。

しかし、泳ぐことをせずに、背浮きで体の力をぬくと反対に浮くのです。服に空気をためると浮き袋になります。また、ペットボトルを胸にかかえると、長い時間浮くことができます。

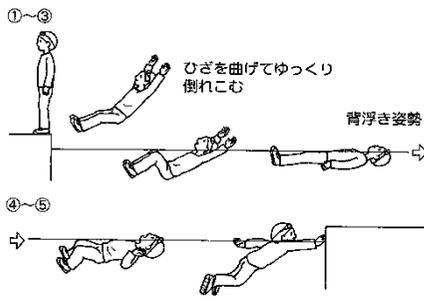
また、流れのある中で背浮きになつて漂い、プールサイドからペットボトルを投げ入れてもらいます。この時には、ペットボトルに少し水を入れておきます。キャッチしたら、ペットボトルで浮く体勢を取つて、漂います。

水を流す

ペットボトルに少し水を入れてプールに投げこむ必ず友だちのいない所に投げる

服に空気をためて浮く

さらに、エレメンタリーバックストロークで背浮きで泳ぐことも体験します。プールサイドに後ろ向きに立ってひざを曲げて、背中からプールに倒れこみます。この時、アゴを引くようにします。いったん水の中に沈みますが、あわてずに背浮きの姿勢を取るようになります。呼吸が確保できたら、次にエレメンタリーバックストロークで移動します。プールでは、反対側のプールサイドに移動しますが、海や川など、流れのある所では、流れに逆らわずに岸に移動します。エレメン



タリーバックストロークで移動するのは、あくまでも岸の近い時です。それ以外の時は、背浮きで浮いて、救助を待つことが大切です。着衣泳は、服を着て泳ぐことの難しさと教えることを目的に行われる場合が多いのですが、それだけではなく、同時に、工夫次第で長く浮けることを重点的に教える着衣泳でなければいけないと先生は考えています。…とと言うようなことを、教えたかったのですが、実に残念です。

タリーバックストロークで移動するのは、あくまでも岸の近い時です。それ以外の時は、背浮きで浮いて、救助を待つことが大切です。着衣泳は、服を着て泳ぐことの難しさと教えることを

みんなの日記がっ



□「アゲハチョウ」

西野一翔

ぼくの家では、弟が二匹、アゲハチョウの幼虫を飼っています。

前に、モンシロチョウがサナギから成虫になったので、にがしました。数日後に、弟がおじいちゃんにアゲハチョウの幼虫をもらったので、今も家で育てています。アゲハチョウの幼虫の食べ物、主に、柑橘系の葉っぱです。アゲハチョウの幼虫の大きさは、大体4cmから5cmで、とても食よくおうせいで、たくさん葉っぱを食べます。なので、おじいちゃんにみかんの葉っぱをもらったら、冷蔵庫で冷やして長持ちさせています。

今の朝の状態はサナギです。お母さんが言うには、アゲハチョウはサナギになる前にしるを出して、少し小さくなってサナギになるらしいです。これからどういう成長をするのか知りたいです。

□「寝ぼけ」

八田菜愛

私はよく寝ぼけて、歩いたり、下の階に行ったりしてしまいます。ですが、いつもはその歩いた記憶などは消えているのに、今回ははっきりと覚えていました。

起きた時、自分の部屋で寝ているはずが、なぜかソファで寝ていました。しかも、電気もついていて、自分でつけたと思うと不思議です。いつもは、お母さんが、気づいてよびもどしてくれるらしいのですが、今回はだれも気づかれず、下で寝ていて、気づいた時はものすごく怖かったです。

何よりも不思議なのは、今まで一度も階段から落ちたことがないのです。その時に、目は見えているのかも分かりません。夢と現実の境目にいるので、目は見えているけど、覚えていないのかと思います。早くこの行動がなくなってほしいです。

□「イヤホン」

渋谷桃香

私は、土曜日にエディオンに行きました。そこで、イヤホンとせん風機を買いました。ママたちが色々な商品を見ている間に、スマホコーナーに行つて、「トムのラン」というアプリで遊んでいました。

家に帰ったら、買ってきたイヤホンで音楽をききました。ちなみに、私の好きな曲は、「君に贈る詩」と、「ありがどう旅立ちの声」と、「友々旅立ちの時々」です。「君に贈る詩」と、「ありがどう旅立ちの声」は、ベリーグッドマンの曲で、「友々旅立ちの時々」は、ゆずの曲です。ぜひ、きいてみてください。

あたらしい憲法のはなし

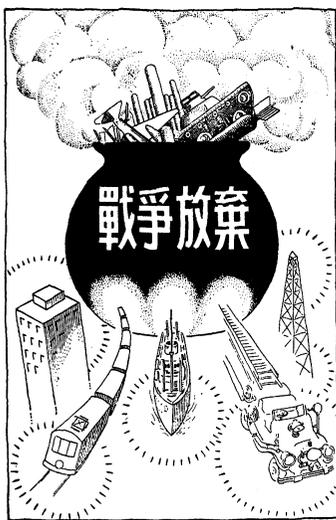
(一九四七年 文部省著作)

みなさんの中には、こんどの戦争に、おとうさんやにいさんを送りだされた人も多いでしょう。「じぶんにおかえりになったでしようか。それともとうとうおかえりにならなかったでしようか。また、くうしゆうで、家やうちの人をなくされた人も多いでしょう。いまやと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があったのでしょうか。何もありません。また、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこっただけではありませんか。戦争は人間をほろぼすことです。世の中のよいものをこわすことです。だから、今度の戦争をしかけた国には、大きな責任があるといわねばなりません。このまえの世界戦争の後でも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの国々ではいろいろ考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまったのは、まことに残念なことではありませんか。

そこでこんどの憲法では、日本の国が、けつして二度と戦争をしないように、二つのことを決めました。

その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いつさいもたないといふことです。これからさき日本は、陸

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんな」第31号 2020.6.30(火)



軍も海軍も空軍もないのです。「放棄」とは、「すててしまふ」といふことです。しかし、みなさんは、けつして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの国より先に行ったのです。世の中に、正しいことくらい強いものはありません。

もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、けつして戦争によつて、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないといふことです。なぜならば、いくさをしかけることは、けつきよくじぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかなくとも、国の力で、相手をおどすようなことは、いつさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄といふのです。そしてよその国となかよくして、世界中の国が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の国は、さかえてゆけるのです。

みなさん、あのおそろしい戦争が、二度とおこらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。

☆この「あたらしい憲法のはなし」は中学校一年生の教科書にのつていた「戦争のほうき」の部分です。とてもわかりやすい言葉で書かれており、難しい言葉で書かれた憲法の内容を理解することができます。文部省がこれを書いていたのですから、今では、考えられないことだと言えます。「あたらしい憲法のはなし」が書かれたのが一九四七年ですので、今とは状況が少しちがっています。特に、線を引いた部分は、ずいぶん当時のとらえ方とはちがっています。

今、憲法を変えようとする人と、憲法を変えない方がよいという人がいて、大人の中でも意見が分かれています。改正しようとする人達の意見は「アメリカの作った憲法だから日本国民に合ったものではない」とか、「日本が攻められたときに今の憲法では、自衛隊が出動できない。」などという理由です。反対に、憲法を変えない方がよいという人たちは、「これまで戦争もなくこられた平和憲法なのだから、今の憲法を守るべきだ」という理由です。

憲法を改正するためには、国会で三分の二の多数決の後、国民投票があり、その過半数で決まります。みんなが大きくなくて、もしそのような判断に立たされたときに、どの様な立場を選ぶのでしょうか？

☆授業の感想から

・私は一度だけ、ひいおばあちゃんに戦争の話を書きました。ひいおばあちゃんの家族や友人がたくさん亡くなって、住む所もなく、このままだったら死んでしまうかもしれないと言う時に、近所にいるおじいさんが梅干しをくれて助かったそうです。だけど、梅干しをくれたおじいさんが一週間後に亡くなったそうです。これからは、人が困っていたり、傷ついたりしているときには助けてあげたいです。(渋谷)

・原爆が落とされた事は前から知っていて、こわかったんだろう、小さい子などは泣きくずれていたんだろうと考えていました。今日の授業で戦争のことを学んで、大人はどんな思いで戦っていたんだろうと気になりました。今の私たちがいるのは、昔の人や日本国憲法があったからだと思います、一生懸命生きようと思いました。(藤岡)

・平和に暮らせるのがこんなにも大変だと知らなかった。コツコツ平和を作ってきて、そして今の暮らしができるので、とても感謝しています。(中岡)

・私は、戦争を体験した人たちに、ありがとうと言いたいです。理由は、その人たちがいてくれた(生きてくれた)から、令和の今の時代があると思うからです。しかもこの勉強して、絶対に戦争をしたくないと思いました。これからずっと平和でいてほしいです。(三瀬)

・ぼくは憲法九条は改正すべきだと思った。自衛隊は世界上位だから、軍を作って使わなければ良い。ぼくは軍を作りたくないけど、国を守るためには必要だと思った。(佐藤こ)

・昔の人が大変な思いをしながら暮らしたり、戦争の中で生きてくれた事で、自分が生きていることにすごく感謝できます。(高山)

・戦争なんでも起きるわけがないと今まで思っていたけど、他の国では戦争が起きていることを知ってびっくりしました。日本国憲法の学習をしたときの感想には、自衛隊をなくすべきだと書いたけど、いろんな国で戦争が起きていることを知ると、やっぱり自衛隊は残して憲法を変えるべきなのかなと思いました。(久保)

・戦争があったから、死ななくていい人が亡くなって、昔はともつらかったと思う。今の時代にかうして生きているのが幸せなんだと思った。平和主義が作られて良かったと思う。(八田)

・戦争はどんだけ危険なことかわかったし、ひいおばあちゃんが戦争の時に生きてくれたおかげで今の私があるんだと改めて思いました。(岩本)

・なぜ世界の偉い人たちは人を殺してまで自分の国を発展させたいのだろう。戦争に勝っても負けても戦争のせいで失うものが多いのに、なぜ戦争をするのだろう。世界の偉い人たちは心入れかえてもらおうと思った。(戸川)

・ぼくは今日の勉強で、どれだけ平和主義が大切なのが分かりました。そして憲法改正に賛成です。なぜなら、地震などで行方不明者をさうさくしたりして、今の日本に役立っているからです。(西野)

・私のおばあちゃんは長崎に住んでいます。おばあちゃんは、戦争の時はまだ生まれていないけど、いつも夏休みに長崎に行くのが八月九日辺りなので、いつもおばあちゃんと一緒に平和の鐘が鳴ったときに、平和を願っていました。私は今日の学習を通して、平和と言うものがどれだけ大切なのかを知りました。(岡田)

・動画や教科書を見ていて、いつ何が起るかわからないことを改めて実感しました。おじいちゃんは戦争時代にまだ一年生だったけど、生きのびてくれて本当に良かったと思いました。(井上)

・世界で平和が保たれているところはすごい少ないことを今日初めて知りました。今日日本が戦争していても、身近に戦争の跡は残っていません。またおじいちゃん、おばあちゃんに戦争のことを聞きたいと思いました。(堀川)

・ぼくのおじいちゃんはロシアで連れていかれたけど、ご飯とか食べさせてもらえて、日本にもどらせてくれたらしいです。でも外国に行ったまま帰らない人も多いと思うから、戦争とてもおそろしいものだと思います。(大武)

・一九四五年八月に広島や長崎に便が原爆落とされたことを知った。戦争で犠牲になった人が何万人何百万人いてかわいそうだと思った。小学校六年生二人が平和の誓いをしてすごいなと思った。(川原)

・私には、百さいいをこえたひいおばあちゃんがいいます。なので、戦争を経験しています。周りの友達や家族がいなくなつて、つらい思いをしながら生きているそうです。それでも生きているから、命の大切さが分かります。戦争のこわさは体験したことがないからわからないけど、おばあちゃんから学ぶことがたくさんあります。これからは平和をずっと保ちたいです。(下田)

五〇m走の不思議をさがせ その②

雨で二週間ぶりの五十m走の授業でした。走りにひそむ不思議を、いろんな実験を通して確かめる二回目は、次の質問です。

(Q)あなたは五〇m走を前半と後半では、どちらが速く走れると思いますか？

その結果

前半—11人

(後半はつかれて、ばててしまう。前半で体力を使ってしまう。)

後半—17人

(少しずつ速くなっているから。ラストスパイトと思うと力が出てくる。後半は最初から勢いがある。)

同じ—2人(同じ距離を走るから)

という予想となりました。

おもしろい理由もありますが、五〇m走というのは、小学生にしてみれば、短距離走ではなく、最後はつかれてしまう走運動だと思われるようです。

それで、どっちが本当に速く走れているのか確かめる実験を行いました。その結果が次のようになります。

前半—0人

後半—32人

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」 第32号 2020.7.1(水)

全ての人が、後半が速く走っています。前半は速さ〇からのスタートなので、後半の方が速くなると言うのは、当たり前と言ったら当たり前の事でしょう。しかし、ほとんどの人が後半の方につかれてしまっていて、実際に走る様子も苦しそうです。そのため、後半にぐっと速さが落ちてしまうとみんなは感じているようです。実際には速さがどのように変化しているのでしょうか。それを、次の時間に確かめます。

授業の感想から

6/26



・スタートは余りスピードが出ていなくて、だんだん速くなると思った。予想が当たってうれしかった。後の方を速く走ることができた。(磯田)

・予想していたのと同じで、後半の方が速いことが分かった。前よりタイムが縮まっていたうれしかった。(下田)

・止まっていたのに急に走り、どんどんペースになってくるので少し速くなると思った。前と比べてタイムが上がっていた。(菅野)

・後半はつかれておそくなると思っていたけど、前半の方がおそくてびっくりしました。でも、タイムは前計った時より速くなっていたのうれしかったです。(久保)

・前半より後半の方が、リズムが整えられて、勢いがつくから、後半の方が速いと思った。(藤岡)

・前半の方が、体力的に速くなると思っていたけど、後半の方が速くなったので、驚いた。後半の方が助走がついているから速くなったのだと思う。(八田)

・いつもより速く走れた。また、後半の方が速いことが分かった。ぼくの予想は外れたが、これも一つ勉強できた。(岩本ひ)

・自分の予想が当たってとてもうれしかった。二人で走ったせいか、前よりもタイムが速くなった。もう少しで8秒台にいったので、とてもくやしかった。(奥谷)

もし、私(ぼく)が〇〇だったら



□「もし私が聖徳太子だったら」澤田ひなた

私は、聖徳太子のことを尊敬するところがあります。

私は、友達と話をしているとき、「聞き役」になることがすごく多いです。何人もの友達が私に話をきいてほしいと一度に言ってきたり、すべて聞くことができません。なので、聖徳太子のように、一度に十人の話が聞けたら、すごくいいなと思いました。

でも、聖徳太子のように、何人もの人の話を一度に聞くことはできません。でも、一人一人の話をしっかり聞いて、楽しい生活を送りたいなと思います。

□「もし私が卑弥呼だったら」 土家瑠子

もし私が卑弥呼だったら、ほとんど人に会わずに、さみしい暮らしはしていかないと思います。私は、一人になるのが苦手で、一人でいるとさみしくなるので、卑弥呼はさびしかったと思います。でも、卑弥呼はさみしい思いをしながらも、国をまとめたので、すごいなと思います。

卑弥呼は、争いがきらいだったと思います。でも、国を守るためには仕方がなかったのかもしれない。私は、卑弥呼はかわいそうだと思います。

□「もしぼくが聖徳太子だったら」 安川颯太

もし、ぼくが聖徳太子だったら、三つのやりたいうことがあります。

一つ目は、農民と豪族の接し方を平等にすることです。なぜなら、農民達が争いをすると、平和ではなくなるからです。

二つ目は、十七条だけではなく、もっとたくさん条文を作ることです。だめなことをたくさん決めて、農民や豪族守らせるためです。

三つ目は、税を多く取らないことです。みんなが平等な暮らしを行うためには、税を低くした方がいいです。そうしたら、争いも起こらないと思うからです。

この三つのことを行ったら、平和な暮らしができて、飛鳥時代がもっと長く続いたと思います。

□「もし私が聖徳太子だったら」 菅野日和

もし私が聖徳太子だったら、推古天皇を助けて、政治を行って、十七条の憲法を定めたり、米をみんなで作ったり、いろいろな文化を取り入れて、平和に暮らししていくかなと思います。それは、争いで命をなくしたくはないからです。

争いがずっと続くのであれば、何人かを守って、守った人達が幸せに暮らしていけるように、安全

【考古学のお話⑭】—日本人と犬のお話—

鎌倉時代に武士の武芸の練習として、犬追物いぬおしものというのがありました。犬をまて的にして馬に乗って弓を射るといふ訓練です。犬追物がどうして始まったのかはわかりませんが、飛鳥や奈良時代から、天皇がお供をつれて狩りをした記録が残っており、ウサギやイノシシの動物を弓で射たことから、犬を放してそれを訓練にしたことはあり得えます。しかし、どうしてその犬が犬になったのか？それはわかっていません。

鎌倉時代になり、幕府が公式の行事として犬追物を行うようになってから、武士の間で犬追物は流行かよします。記録にも残っていて、一番古いのは一二〇七年に京都で行われています。一二二二年二月六日の犬追物は鎌倉幕府の南庭で犬二〇匹を放して行われています。犬追物は、他の訓練の笠懸かさかけや流鏑馬やぶがさめと比べて、的となる犬が動き回るので馬の上から射るのが困難だったようです。

室町時代になっても犬追物は、ブームで、足利尊氏や義政が犬追物を開いています。このころのやり方としては、三六騎（馬に乗って矢を射る人）が一五〇匹の犬を射るのが正式なやり方だとされています。犬追物は犬を殺すことが目的ではないので、矢の先を丸めたり、犬の頭や足やしりを当たりしてはならないとか細かいルールも決められていました。

犬追物は信長・秀吉の時代にはすたれ、江戸時代の徳川家光以降はされなくなりました。それでも、犬追物は犬にとってはめいわぬ武芸の訓練であり、それが鎌倉から江戸まで行われていたのですから、武士の世の中は犬にとってはつらい時代だったことでしょう。



な場所を作って、みんなを幸せにしていきたいです。
そして、食料をたくさん作って、余った分を商売して、お金をたくさん集めます。争いで死にたくない人をもっとたくさん集めて、安全な場所で静かに暮らしてもらいます。
その場所の真ん中に大きな寺を建てて、その子どもに勉強を教えます。安全な村の村長になって、どんな人を助けて行きたいです。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第33号 2020.7.2(木)

跳び箱の授業 その②

「反転系横跳びこし」から「かかえこみ跳びへー

跳び箱は、回転系と反転系（切り返し系）という2つの運動に分けられることを前の時間に学習しました。そして、「回転系横跳びこし」と「反転系横跳びこし」を行いました。今回は、「反転系横跳びこし」から「かかえこみ跳び」の学習です。

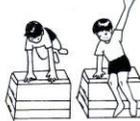
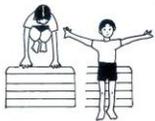
まず、手のつく位置を変えます。横跳びこしでは、手を跳び箱に対して横についていました。反転系では、視線を移さなければならぬので、この手を平行に着くようにします（縦跳びこし）。前の時間でも、もうすでに縦跳びこしになっている人が多かったです。

次に、横跳びこしでは、足のぬく方向は得意な方の足をぬいています（ステップ①）、得意でない方の足をぬくようにします。（ステップ②）、そして、手を同時につきはなすように

【ステップ3】 かかえこみとび

【ステップ2】 反対の手をはなす

【ステップ1】 反転縦とびこし



反転系横跳びこし

すると、かかえこみ跳びが完成します。（ステップ③）

かかえこみ跳びでは、ふみ切った後に、足を胸の方へ引きつけます。この時、ねこちゃん体操の「フツ」を意識して跳びます。アゴを上げて「ハッ」で着地にします。視線をすぐに上げないと、前のめりになってしまいます。

見ていると、①両手が同時につかなくて、片手ずつになってしまう

かかえこみとび



場合、②両手は着いているのですが、つきはなすのではなくて最後まで離れない場合です。①②両方も、前の段階である「縦跳びこし」で両手を同時につくはなす練習をしましょう。

授業の感想から 6/29

・かかえこみ跳びは、最初は補助があってもできない時があったけど、補助がなくてもできるようになった。補助もうまくできるようになった。

（井阪）

・初めの間は全然できなかつたけど、友達がアドバイスしてくれて、そのようにしたら、少しできるようになったので、うれしかったです。（土家）
・この前よりできるようになって、うれしかった。かかえこみ跳びは、最初はこわかったけど、だんだんできるようになって楽しかった。（八田）

・体をひきおこす時、バランスがくずれて、ピシッと立てなかつたので、次はしっかり立つ。(菅野)

・今回は、あまりかかえこみ跳びができなくてくやしかった。みんなのを見てみると、跳び箱の上で正座をしているように跳んでいることが分かった。このことを考えて、次回からがんばってできるようにになりたいと思う。(奥谷)

・今日わかつたことは、足を引きつけることが、とても難しいと言うことです。最後にちゃんと前を向く体勢にすることも意識することだなど思いました。(高山)

・かかえこみ跳びはとても難しかったけど、先生のおかげでできた。でも、補助がなかったら、ちょっと不安になるから、自分だけで勇氣を出してできるようにになりたい。(岩本ひ)

・かかえこみ跳びを初めてやった時、結構難しくて、どうしてもつま先が少し当たってしまいました。何回もやったらできるようになってよかったです。何回もやったらできるようになってよかったです。今度は、跳び箱に手をつけばなしに近づいてみました。(堀川)

・かかえこみ跳びを初めはできなかったけど、だんだんできてきて、最後になつたらできました。何回もやってみようと思えるようになってきました。(谷口)

・前の体育の回転系横跳びこしとはちがいで、足を真ん中にもってこないといけないので、全然できなかったです。今度はもっと手をちゃんと着いて、飛びこえられるようになります。(佐藤心)

・かかえこみ跳びは、足を曲げる所がとても難しく、びっくりした。(安川)

みんなの日記から



□「本屋さん」

奥谷綾乃

先週の土曜日に家族四人でアルルに行きました。その中で、一番楽しかった買い物は、本屋さんで本を買ったことです。

私は、三ヶ月ぶりに行つたので、買いたい本がたくさんありました。本をいったん全て見ると、銭天堂⑬と実験対決⑭が売ってありました。これは新刊だと思い、思わず買ってしまいました。後、一冊は、鬼滅の刃の小説一巻を買いました。私は鬼滅の刃の内容をあまり知らなかつたので、この機会に、ぜひ知つこうと思えました。

私のクラスでは、読書貯金があります。その日買った本を読んで、読書貯金がたくさんためられるように、これからはがんばって読んでいきたいです。

□「特別な誕生日会」

岡田紗侑

私は、今日、家の前で友達の誕生日会をしました。

まず初めに、主役の子よりも前に準備が始まりました。風船をふくらましたり、机やレジャーシートも用意したりしました。

そして、主役の子が来てから、クラッカーを鳴らして、誕生日会だということを知らせました。

プログラムは、初めに「絵しりとりに」をしました。スイカから始まって、ラップで終わりました。その次は、「文字ぴったん」をしました。こ

れは、言葉を作って遊ぶカードゲームでした。その後、ビンゴをしました。ビンゴの景品は、自分たちで用意しました。

最後に、私の大好きな「人狼ゲーム」をしました。私が人狼になったり、市民になったりして、とても楽しかったです。

予定とは全然ちがったけど、主役の子が喜んでくれて、とてもうれしかったです。プレゼントをあげた時の笑顔を見た時は、こっちも笑顔になりました。計画を立てるときは、喜んでくれるかどうか少し心配していたけど、喜んでくれてうれしかったです。がんばったかいがあつたと思えました。

□「剣道のキャプテンになって」 倉谷光羽

ぼくは、土曜日に剣道をしました。

先週の土曜日に、キャプテンになって、号令などかけないといけないので、ちょっといやでした。でも、キャプテンになったのだから、やらなといけないし、みんなを引っぱっていきたくないと思えました。

剣道の練習が始まって、最初に号令をかける時が来ました。でもぜんぜん上手にできませんでした。でも、はっきり言おうと思ってがんばって言いました。とても、きんちょうしました。

前のキャプテンに、

「がんばれよ。」
と言われて、ちょっとできるよになったと思えました。これからも、剣道をがんばっていきたいです。

江戸の歌人「橘曙覧」



「たのしみは〜とき」の歌。作者は橘曙覧という江戸時代の歌人です。短歌というところが、むずかしくてなかなかじめないものですが、橘曙覧のこの歌は、たいへんわかりやすいです。生活の中に見いだす楽しみを、『独楽吟』という歌集に五十二首詠んでいます。

橘曙覧（一八一二〜一八六八）は、福井市で活躍した歌人です。紙や墨や筆を扱う文具商の家に生まれ、家をついだもののうまくいかず倒産寸前となり、家業を弟にゆずります。そして、三十三歳のときに歌人としての道を歩むこととなります。しかし、その生活はとても貧乏だったと言われています。五十四歳の時に、福井藩で古典の講義をする話もあったようですが、橘曙覧はこれを断ります。士官の道ではなく、貧乏であるけどつましい生活を選んだようです。

橘曙覧の感じる楽しみは、今の時代にも共通するものがあります。先生は「たのしみはいやなる人の来たりしが長くもをらでかへりける時」の歌が好きです。今も昔も変わらない庶民の生活が見えてきます。

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第34号 2020.7.3(金)

たのしみは昼寝せしみに庭ぬらし
ふりたる雨をさめてしる時

たのしみは昼寝をしたまま目覚めると、いつのまにか夕立が来て庭をぬらしたことを知った時である。

たのしみは三人の児どもすくすくと
大きくなれる姿みる時

たのしみは三人の子がすくすくと大きくなった元氣な姿を見る時である。

たのしみは庭にうゑたる春秋の
花のさかりにあへる時々

たのしみは庭に植えた春秋の花がそえおかれ真つ盛りに咲くの時々である。

たのしみは珍しき書人にかり
始め一ひらひろげたる時

久保 日香莉作

たのしみは珍しい本を借りてきて最初の一枚を広げて読むようになったときである。

たのしみは人も訪ひこず事もなく
心をいれて書を見る時

たのしみは訪ねてくる人もいないし、変わったこともないときに、熱心に読書し、勉強するときである。

たのしみは小豆の飯の冷えたるを
茶漬てふ物になしてくふ時

佐藤 晃太郎作

たのしみは小豆飯の冷たくなったのを茶漬というものにして食う時である。

たのしみは家内五人五たりが
風だにひかでありあへる時

たのしみは家中五人、その五人がそろってかぜもひかないでじょうぶでいた時である。

たのしみは百日もひねれど成らぬ歌の
ふとおもしろく出きぬる時

たのしみは百日もひねって苦労した歌が、ふと何かのひょうしにおもしろくてきた時である。

たのしみはまれに魚煮て児等皆が

うましうましといひて食ふ時

たのしみはたまに魚を煮て子どもたちみんながうまいうまいと言ひながら食う時である。



たのしみは朝起きて昨日まで咲いていなかった花が咲いているのを発見したときである。

たのしみは三人の児どももすくすくと

大きくなれる姿みる時

たのしみは三人の子がすくすくと大きくなった元気な姿を見る時である。

たのしみは心をおかぬ友どちと

笑ひかたりて腹をよるとき

たのしみは気のあつた友達とおしゃべりをして、そのおかしさに腹の皮をよじらせて笑う時である。

たのしみは昼寝目ざむる枕べに

ことごとこと湯の煮てあるとき

たのしみは昼寝して目が覚めると、枕べにある湯がことごと煮えている時である。

たのしみは百日ひねれど成らぬ歌の

ふとおもしろく出きぬる時

たのしみは百日もひねって苦勞した歌が、ふと何かのひょうしにおもしろくてきた時である。

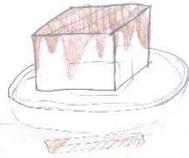
たのしみは錢なくなりてわびをるに

人の来たりて錢くれし時

たのしみはお金がなくなつてどうしようかと困つていたときに友人が来てくれてお金をくれた時である。

たのしみはつねに好める焼豆腐

うまく煮たてて食せけるととき



井阪満穂 作

たのしみは大好きな焼き豆腐が、うまくておいしく食べるときである。

たのしみはいやなる人の来たりしが
長くもとうてかへりけるととき



磯田大雅 作

たのしみはイヤな人がやつてきたが、長居もせずに帰つてくれた時である。

たのしみは門売りありく魚買ひて

烹る錨の香を鼻に嗅ぐ時

たのしみは町角を売る歩く魚屋で魚を買い、なべて煮ているとにおいがしてきた。それを鼻でかいている時である。

たのしみは雪降るよさり酒の糟

あぶりて食くひて火にあたる時

楽しみなのは、雪の降る夜に酒粕(さけかす)をあぶつて食べ、火鉢(ひばち)に当たっている時である。

たのしみは木の芽煮やして大きな

饅頭を一つほぼりしとき

楽しみなのは、香ばしい茶を入れて大きな饅頭を一つほおばつた時である。